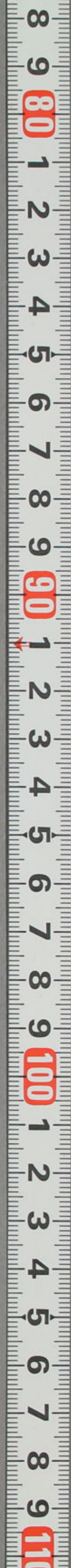


本朝名公書寶

中卷



本朝名公墨寶卷之中

目錄

伏見院

後伏見院

為圓親王



為道親王

為鎮親王

為朝親王

為純親王

近衛閑白信基

本門跡光悦

伏見院

山
廔
採
薇
雲
不
狀

洞中栽樹

鶴先知

鳳池後面

新煉月

龍閣前頭

薄暮山

擊酌卯時

葉葉露

心睡甲日

偏花風

落枕波聲

分岸一葉

菊 道 板 心

あ ぬ ぬ

あ ぬ

あ ぬ の ぬ ぬ

あ ぬ ぬ ぬ

あ ぬ ぬ ぬ

あ ぬ ぬ

あ ぬ ぬ ぬ

おはるくしほみこそ

よこをさるいほ
さ

おはるけいさるほ

おしころ
祝

おはるけいさるほ

おはるけいさるほ

おはるけいさるほ

おはるけいさるほ

おはるけいさるほ

冬 かのきりぎりす

かきねり

花と

木乃百

る

あ

あ

雪はゆきあはれ

ゆきあはれ

かきねり

あ

あ

長乞巧
得少年

搖

後伏見院

Handwritten cursive text on the right page, consisting of several vertical columns of characters in a highly stylized script.

竹竿了以止

願總

多

賣藥修琴
歸去逢山風
吹去桂花枝

世間甲子須
史の巻は仙
人 卷者其奈

世のふらばく夢が
うたひの心と
あふゆめもあは
あわくあはれ

あまにまかりあはれ

いくぬの屋とあはれ

あまにまかりあはれの

あまにまかりあはれ

あまにまかりあはれ

あまにまかりあはれ

あまにまかりあはれ

あまにまかりあはれ

あまにまかりあはれ

ら〜に〜ぬ

し〜も〜

乃

あ〜は〜

〜人〜

字子禮

贈一品為園親王

看子夜凍

聲了不發

老翁手晚

鑿相為

十月江南天

氣好可憐冬

氣似春華

上及春氣倍

例下官住取
屋右家赤白
越过七日白如雪

如焚了不知为力
了绝心去恨
花猪猪如河

欲借車馬約大
河過車解題是
也

厚今古不復也

又漢友之自徽也

可出死生存亡院

因履金龜行

酒柄寫其形

美望各名之

教藝誰老

瑞庭又古松老

秋三十八人子

勅抄の楷教を

とらぬ御深く地

河をたぬるも勢

年毎に母を指す

早のり昭中

給也る風一掃

吾知此乃古時看一程

之語乃始之也

河神之飲其的也

可也森高心德也

乃如也

海濱之歲歲也

海湯之直下無底
旁無多過雲濤煙浪
竅深處人傳中有
三神山之生不死

藥服之羽化為仙人
秦皇漢武信此語
去年採藥去蓬萊
今古但聞名大山

無負處海濤之風
浩之眼字不見蒼
萊塢不見蒼萊不
敢歸童男仆女舟

中一先徐福文成多
祖地占元右一也祠
倚夫名磯嶽上杜
陵頭萊一也也風

吹簫弄笛何說定
元聖祖天子
素不言仙上
白日孫喜

見心

~~~~~

交

起



みくのもく人

かきくむさかきく

ていしんにかきく

い酒はく

あき

1175

花のまふ持

だまらお

あ

あはく

あまあ



かきふ へき葉

いそ へきか、て

はまぐ

ちりー。あま、風

いの

あま

のり

かき、いそ

ちりー

あま

あまの

いそ

ちり。

いそ、あま、いそ



ふのつれたさ。

ふの薬いー音

あつれ

きり

あつれ  
きり  
あつれ  
あつれ  
あつれ

一品尊道親王

三山ふつれ

ふつれ  
あつれ  
あつれ  
あつれ

あつれ  
あつれ  
あつれ  
あつれ



新

華

黄

老嬾

新

華

二分

半

新

一

白

あはれ原あり

はあみまは

みまの

あすり  
る

あはれ

いま月も



叙中のこころ

あつたふり

よ

いよ  
はらへ

あらはる  
境

二品親王の鎮

は  
藤露庭

翠竹  
砂記

耀中  
堂名



たさけう経の

庭より匂ふ

如き

あらね

梅心

を

さむらと乃らん

不堪紅葉

春苔地

又先涼風

雪西天



志ろ 捲色 時ぬあふ  
いろうりか 山 巻

した葉のあふ

ゆみ 連しにたり

二品 高朝親王

風生竹 葉あふ

間外 身照 松



河津春と川

苗春不用開

城園花落随

風多入

夕のまじり

花をよめしむ



寺門心水記

記乃心

力心

當青蓮院殿二弟純親王

池吟水無三  
伏友松子風  
有 一 聲 林



身之計乃いと

計此三川也

おの

とすいああ

い

て

る 身之計乃いと

也

清智公静

溪静也







近衛殿信基

錦帳曉開雲

母殿白珠秋

鳳水精盤



さきうのちの世

まはせむらひ

人のこゝろ

まはせむらひ

行宮見月湯

心色夜雨函

嶺断腸拜



ちけぬるに即ち

かゆるに即ち

いふに即ち

たきに乃て風

本阿弥克悦

常

うらむに

乃て

お







し  
に  
に

し  
に  
に

し  
に  
に

し

し

し  
に  
に

し  
に  
に

し  
に  
に

し  
に  
に

し  
に  
に



意之海卷

信

志

集

物言儀

少

神板

信



一

東の店衣自

一  
村  
一  
路

一  
路

一  
路

一  
路

一  
路



ひき

き

是乃之儀

は

1127





